

大事業	30	防災・防犯	担当部署	人権施策推進課	
中事業	30	消費者対策の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	10	消費者行政推進費		款	07 商工費
事業開始年度		平成30年度		項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	01 商工総務費
当初予算額 A		5,569,000 円	目的	消費者を取り巻く諸問題に取組み、消費者行政を推進していくため、消費者被害の防止、消費生活に関する相談体制を強化し、消費者行政の活性化を図る。	
財源内訳	国・県支出金	4,270,000 円			
	地方債	0 円			
	その他	6,000 円			
	一般財源	1,293,000 円			
人件費コスト B	1.3人役	10,068,500 円	総事業費 A+B	15,637,500 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【消費者行政推進事業】	5,569,000円	4,270,000円	0円	6,000円	1,293,000円

- ・ 消費生活相談員1名を雇用し、消費者問題等の市民相談に対応する。
- ・ 消費者行政担当者のレベルアップを図るため、専門研修を受講する。  
消費生活相談員専門コース（相模原市、大阪市、広島市）
- ・ 特殊詐欺や悪質商法などの消費者被害防止を目的として「より良い消費生活のための集い」を開催する。  
（平成30年6月開催予定）
- ・ 消費者問題弁護士相談会を毎月1回開催する。
- ・ 消費者情報紙ホットハート通信を発行する。（全戸配布、年6回）
- ・ 消費生活カレンダーを作成し配布する。（2,200部作成、独居高齢者世帯、小中学校等に配布）
- ・ 消費者行政を推進するために、安来市消費者行政審議会を開催する。

成果指標	現状値	目標値
消費者講座等の実施件数	6件	12件

【より良い消費生活のための集い】



弁護士の啓発講演



悪質商法防止の啓発劇

大事業	40	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課
中事業	20	商工業の振興		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	12	商工総務費			款	07 商工費
事業開始年度		平成30年度			項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	01 商工総務費
当初予算額 A			1,563,000 円		目的	関東・近畿在住の安来出身者の親睦を図る。公共交通機関の利用促進を図る。
財源内訳	国・県支出金		0 円			
	地方債		0 円			
	その他		0 円			
	一般財源		1,563,000 円			
人件費コスト B		0.3人役	2,323,500 円		総事業費 A+B	3,886,500 円
<b>【事業名称】</b>		事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
<b>【ふるさと会事業】</b>		880,000円	0円	0円	0円	880,000円
東京安来会、近畿安来会を開催し、会員の親睦と安来市活性化のための協力を依頼する。						
<b>【各種団体負担金事業】</b>		221,000円	0円	0円	0円	221,000円
海上保安協会、島根県中小企業団体中央会、境港貿易振興会等への負担金。						
<b>【その他事業】</b>		462,000円	0円	0円	0円	462,000円
港湾等の街路灯の電気代、街路灯の点検及び修繕、計量器検査事業（偶数年度実施）ほか。						

大事業	40	産業・観光・雇用	担当部署	商工観光課	
中事業	20	商工業の振興	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	15	商工業振興費		款	07 商工費
事業開始年度		平成30年度		項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	02 商工業振興費
当初予算額 A			31,367,000 円		
財源内訳	国・県支出金	県	2,156,000 円		
	地方債	過疎	17,500,000 円		
	その他	諸収入	5,000 円		
	一般財源		11,706,000 円		
人件費コスト B		0.9人役	6,970,500 円	総事業費 A+B	38,337,500 円

目的  
中小企業の経営改善、革新の取組みを支援する。

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【やすぎ刃物まつり事業】	7,822,000円	0円	0円	5,000円	7,817,000円
--------------	------------	----	----	--------	------------

ハガネの街安来のPR及び中心市街地活性化を図る。

成果指標	現状値	目標値
来場者数(人)	31,000	30,000

【商工会議所等補助金事業】	17,900,000円	0円	17,500,000円	0円	400,000円
---------------	-------------	----	-------------	----	----------

商工会議所、商工会の経営改善普及事業に対し補助金を交付し、企業支援を行う。

成果指標	現状値	目標値
会員相談件数(件)	4,000	4,200

【企業見学ツアー事業】	638,000円	0円	0円	0円	638,000円
-------------	----------	----	----	----	----------

安来市内の高校1年生を対象に市内製造業を中心とした企業及び地域資源等の見学ツアーを行う。

【商業再生支援事業】	4,812,000円	2,156,000円	0円	0円	2,656,000円
------------	------------	------------	----	----	------------

空店舗へ出店を促すための家賃補助及び改装費補助、中山間地における店舗整備及び移動販売車購入補助を実施する。

成果指標	現状値	目標値
事業を利用した空き店舗への出店数(件)	5	4

【その他事業】	195,000円	0円	0円	0円	195,000円
---------	----------	----	----	----	----------

伝統工芸品紹介パンフレットの作成

大事業	40	産業・観光・雇用	担当部署		商工観光課
中事業	20	商工業の振興	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	20	中小企業金融対策費		款	07 商工費
事業開始年度		平成30年度		項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	02 商工業振興費
当初予算額 A		100,900,000 円		目的	中小企業の設備投資等の支援を行う。
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	諸収入	96,800,000 円		
	一般財源	4,100,000 円			
人件費コスト B		0.2人役	1,549,000 円	総事業費 A+B	102,449,000 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【商工業振興給付金事業】	4,100,000円	0円	0円	0円	4,100,000円
中小企業が設備投資等による融資を受ける際の保証料の補給を行う。					
【中小企業金融対策事業】	96,800,000円	0円	0円	96,800,000円	0円
中小企業の設備投資等の際、資金調達が容易となるように金融機関に資金を預託する。					

大事業	40	産業・観光・雇用	担当部署	商工観光課	
中事業	20	商工業の振興	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	25	中心市街地活性化事業費		款	07 商工費
事業開始年度		平成30年度		項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	02 商工業振興費
当初予算額 A		11,559,000 円	目的	やすぎ懐古館一風亭を拠点に中心市街地の活性化を図る。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	11,559,000 円			
人件費コスト B	1.0人役	7,745,000 円	総事業費 A+B	19,304,000 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【やすぎ懐古館一風亭管理事業】	4,166,000円	0円	0円	0円	4,166,000円
-----------------	------------	----	----	----	------------

中心市街地活性化のキーステーションとして、やすぎ懐古館一風亭を有限会社やすぎ千軒に指定管理委託し、積極的な活用を図る。

成果指標	現状値	目標値
年間利用者数(人)	23,000	27,000

【中心市街地活性化事業】	7,393,000円	0円	0円	0円	7,393,000円
--------------	------------	----	----	----	------------

平成25年度から継続実施している賑わい創出事業を安来商工会議所と連携しながら実施する。併せて、平成27年度から実施している「まちゼミ」事業を継続して実施し、個店の活性化を図る。

①「まちゼミ」開催事業

各個店の店主が講師となり、予約制で各店の専門知識をお客様に無料で講義し、お客様に店の存在・特徴、店主のこだわり・個性などを知っていただき、コミュニケーションの場から信頼関係を築く「まちゼミ」を開催する。

まちゼミの開催により、新しいお客様と出会うことができ、既存顧客の満足と個店の売上げが伸び、最終的にお客様に喜んでいただき、お店が繁盛し、街の賑わいに寄与する“みんなが幸せになる事業”を実施する。

- ・アドバイザーによる勉強会(計4回)
- ・まちゼミの開催(2回)



アドバイザーによる勉強会の様子



まちゼミ開催の様子

②賑わい創出事業

- ・情報科学高校と連携した「やすぎ神在月まつり」
- ・青年4団体との連携事業
- ・やすぎワイワイ宣言と連携した「クリスマスリースづくり」など



やすぎ神在月まつりの様子



クリスマスリースづくりの様子

③創業支援事業

産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画に基づき、市内における創業、第二創業の実現に向けて、関係機関と連携しながら創業支援事業を実施する。

- ・起業セミナーの定期開催事業
- ・起業支援拠点整備事業（寛のくら）
- ・ビジネスプランコンテストフォロー事業
- ・創業支援アドバイザーの雇用
- ・創業相談、インキュベーション事業



セミナーの様子



寛のくら

				予算に関する説明書ページ数		P59
大事業	40	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課
中事業	20	商工業の振興		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	30	産業活性化センター事業費			款	07 商工費
事業開始年度		平成30年度			項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	02 商工業振興費
当初予算額 A		13,920,000 円		目的	地域雇用の拡大、域外マネーの獲得、市内循環型経済へのシフト、U・Iターンの推進、企業誘致の促進などにより地域産業の活性化を図る。	
財源内訳	国・県支出金		0 円			
	地方債	過疎	8,000,000 円			
	その他		0 円			
	一般財源		5,920,000 円			
人件費コスト B		2.2人役	17,039,000 円	総事業費 A+B	30,959,000 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【産業サポートネットやすぎ事業】	10,000,000円	0円	8,000,000円	0円	2,000,000円

地域雇用の拡大、域外マネーの獲得（拡大）、市内循環型経済へのシフト、定住促進を目的として、商工会議所・商工会・J A ・市で組織する産業サポートネットやすぎにより、企業支援事業等を実施する。

成果指標		現状値	目標値
直接支援事業（件）		39	46
内訳	やすぎ夢追人支援事業	2	2
	サポートアドバイザー派遣事業	11	15
	セミナー開催支援事業	2	2
	展示会・商談会出展促進プログラム	8	7
	人材育成支援事業	5	3
	新商品新技術開発支援事業	1	3
	パッケージデザイン製作支援事業	9	10
	知的財産権取得支援事業	0	2
	国際規格認証取得支援事業	1	2

【商工業振興事業】	3,920,000円	0円	0円	0円	3,920,000円
-----------	------------	----	----	----	------------

特殊鋼を活かした新製品開発の支援・相談業務等を行い、県内外で開催される産業フェアや商談会で「ヤスキハガネ」のPR及び販路拡大を行うと共に、関東、中部、近畿圏の企業を訪問し市内製造業の技術力をPRし、見積提案及び取引商談を行う。

大事業	40	産業・観光・雇用	担当部署	商工観光課	
中事業	20	商工業の振興	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	31	企業立地推進事業費		款	07 商工費
事業開始年度		平成30年度		項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	02 商工業振興費
当初予算額 A		128,780,000 円		目的	企業誘致活動により企業立地を推進すると共に、市内製造業の設備投資、雇用拡大を支援する。
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	基金	122,700,000 円		
	一般財源	6,080,000 円			
人件費コスト B	0.7人役	5,421,500 円	総事業費 A+B	134,201,500 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【企業誘致事業】	1,080,000円	0円	0円	0円	1,080,000円
----------	------------	----	----	----	------------

島根県企業誘致対策協議会をベースに、県と一体となり企業誘致活動及び誘致企業への訪問などのフォローアップを実施する。また、企業誘致等を円滑に進めるため企業信用調査会員制度を利用する。

【企業立地雇用促進奨励金事業】	122,700,000円	0円	0円	122,700,000円	0円
-----------------	--------------	----	----	--------------	----

企業等の新設、増設または移設について要件を満たす場合、企業が投資した投下固定資本総額に応じた補助を行うほか、新規雇用従業員数、空き工場等の家賃に係る経費を奨励金として交付することにより、企業の設備投資及び雇用増大を図る。

- ・立地奨励金・・・投下固定資本総額の10～30%（上限3,000万円）
- ・空き工場等活用奨励金（賃借料等助成）・・・賃借料等の月額1/2相当額（上限月額20万円、60月以内）
- ・空き工場等活用奨励金（改装費等助成）・・・改装費等の3/4相当額（上限750万円）
- ・雇用促進奨励金・・・新規雇用従業員のうち安来市に住民票を置く者の人数×10万円（3年以内、上限総額1,500万円）

成果指標	現状値	目標値
企業誘致及び立地促進による新規雇用者数		40

【ものづくり企業技術開発等支援事業】	5,000,000円	0円	0円	0円	5,000,000円
--------------------	------------	----	----	----	------------

市内の特殊鋼関連産業をはじめとする「ものづくり企業」における新製品、新技術等の開発や取引拡大に向けた取組みを支援し、地域経済の健全な発展と雇用の促進を図る。

成果指標	現状値	目標値
新技術等の開発や取引拡大の支援件数 (産業サポートネット やすぎ夢追人支援事業含む)	6	6

大事業	40	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課
中事業	20	商工業の振興		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	35	駐車場管理費			款	07 商工費
事業開始年度		平成30年度			項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	03 商工業施設管理費
当初予算額 A		9,059,000 円		目的	近隣住民、事業者、商店街利用者及び安来駅・荒島駅利用者の利便性の向上を図る。	
財源内訳	国・県支出金		0 円			
	地方債		0 円			
	その他	使用料外	7,402,000 円			
	一般財源		1,657,000 円			
人件費コスト B	0.3人役	2,323,500 円	総事業費 A+B	11,382,500 円		

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【駐車場管理業務】	9,059,000円	0円	0円	7,402,000円	1,657,000円

新町駐車場、東小路駐車場、安来駅前自転車駐車場及び荒島駅前自転車駐車場の維持管理を実施する。



(新町駐車場)



(東小路駐車場)



(安来駅前自転車駐車場)



(荒島駅前自転車駐車場)



大事業	40	産業・観光・雇用	担当部署	商工観光課		
中事業	30	観光の振興	予算科目	会計	01	一般会計
小事業	15	観光総務費		款	07	商工費
事業開始年度		平成30年度		項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	04	観光費
当初予算額 A		17,730,000 円	目的	観光客の誘致並びにこれに伴う市内の観光施設管理や地域振興を図る。		
財源内訳	国・県支出金	0 円				
	地方債	0 円				
	その他	諸収入外 12,000 円				
	一般財源	17,718,000 円				
人件費コスト B		0.7人役 5,421,500 円	総事業費 A+B	23,151,500 円		

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【市内観光地清掃・維持管理業務】 県立自然公園エリア外の観光地の公園管理及び観光施設の管理費。	7,956,000円	0円	0円	0円	7,956,000円
【観光情報発信事業】 各種イベント等での情報発信に係る経費。その他、既存パンフレットの増刷を行う。	4,813,000円	0円	0円	12,000円	4,801,000円
【広域観光事業】 観光関連団体へ負担金を支出し、広域的な観光戦略事業を行う。 ・しまね国際観光推進協議会 76,000円 ・島根県観光連盟 387,000円 ・山陰観光連盟 105,000円 ・神話の国縁結び観光協会 1,588,000円 ・米子空港利用促進懇話会 30,000円 ・出雲空港整備利用促進協議会 1,725,000円 ・広島地区観光情報発信事業 600,000円 ・中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会 450,000円	4,961,000円	0円	0円	0円	4,961,000円

				予算に関する説明書ページ数		P59	
大事業	40	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課	
中事業	30	観光の振興		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	20	観光振興費			款	07	商工費
事業開始年度		平成30年度			項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	04	観光費
当初予算額 A		60,182,000 円		目的	市内観光資源の整備・拡充を図り市外・県外からの観光客への対応力を培っていく。あわせて、観光キャンペーンにより入込客の増加を図る。		
財源内訳	国・県支出金	0 円					
	地方債	0 円					
	その他	0 円					
	一般財源	60,182,000 円					
人件費コスト B	3.0人役	23,235,000 円		総事業費 A+B	83,417,000 円		
<b>【事業名称】</b>	事業費		国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
<b>【観光振興事業】</b>	5,082,000円		0円	0円	0円	5,082,000円	
新聞・雑誌・圏域観光マップ・市内PR看板等に広告を掲載し観光PRを行う。 安来市観光PR番組の制作・放映を委託し、全国に向け市の認知度向上と誘客推進を図る。							
<b>【安来市観光キャンペーン事業】</b>	9,000,000円		0円	0円	0円	9,000,000円	
「安来旅」の魅力となる清水・さぎの湯エリアを中心としたコンテンツの造成や、各種プロモーション、今後需要が見込まれるインバウンドへの対応についての事業等を安来市観光協会へ委託し、認知度の向上と誘客の推進を図る。							
①着地型観光推進事業 清水・さぎの湯エリアの魅力を高めるため、清水寺灯参道・歴史体感ウォークの開催や、市内滞在時間の延長を目指し、「安来 いい旅、いい夫婦」事業及び奥出雲町連携事業により、特典付き周遊マップ発行等、周遊やルート提案の実施。							
②エリアプロモーション事業 尾道松江線の開通による山陽・四国方面の圏域や、首都圏・関西圏・中京圏域に対し、マスメディアを活用した誘客プロモーションを実施する。							
③インバウンド対策事業 クルーズ客船、米子ソウル便、国際チャーター便等により訪日観光客が増加傾向にある中で、2020年のオリンピックに向けさらに受け入れ体制の整備や外国人向けコンテンツの充実を図る。							
<b>【市民感謝デー開催事業】</b>	1,800,000円		0円	0円	0円	1,800,000円	
安来節演芸館を市民交流拠点としての強化や安来節の普及活動を目的として、市民へのホール無料貸出しや市民向けの無料イベント等の開催を実施する。							
<b>【観光協会補助金事業】</b>	36,300,000円		0円	0円	0円	36,300,000円	
観光に係わる地域振興の事業運営費として補助するもので、安来市観光協会各支部が実施するイベントへの支援、安来市と連携した観光PR等を行い、誘客並びに地域経済の活性化を図る。							
①本部事業（観光プラン推進事業、広告宣伝・広域連携事業、特産品販売事業等）							
②安来支部分（桜まつり事業、ぼんぼり作成）							
③広瀬支部分（桜まつり事業、祇園まつり事業、温泉まつり事業、ひなまつり事業他）							
④伯太支部分（チューリップ祭事業、ひなまつり事業、母里・井尻夏祭り事業他）							
<b>【月の輪まつり振興会補助金事業】</b>	8,000,000円		0円	0円	0円	8,000,000円	
月の輪まつり振興会の行う各種行事（花火大会・市指定無形文化財行事・仁輪加・安来節公演と自治会ステージ）について補助する。							
成果指標				現状値	目標値		
観光入込客数（人）				1,506,676	1,450,000		
宿泊者数（人）				35,265	34,300		

大事業	40	産業・観光・雇用	担当部署	商工観光課		
中事業	30	観光の振興	予算科目	会計	01 一般会計	
小事業	25	安来節振興費		款	07 商工費	
事業開始年度		平成30年度		項	01 商工費	
事業進捗度(年度末目標)		—		目	04 観光費	
当初予算額 A		43,911,000 円	目的	安来節演芸館を核とした観光客へのPRと各種イベントや宣伝普及事業により安来節の振興を行う。		
財源内訳	国・県支出金	0 円				
	地方債	過疎		7,000,000 円		
	その他	基金外		5,360,000 円		
	一般財源			31,551,000 円		
人件費コスト B	0.4人役	3,098,000 円	総事業費 A+B	47,009,000 円		

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【安来節普及宣伝事業】 各種イベントへの安来節の出演、安来節グッズ等により積極的に安来節PRを図る。	311,000円	0円	0円	0円	311,000円
【安来節教室開催事業】 市内の交流センター・学校等で安来節教室を開催することにより安来節の振興を図る。	1,400,000円	0円	800,000円	0円	600,000円
【安来節演芸館指定管理委託料】 安来節演芸館を指定管理者に管理運営委託し、安来節の振興及び市民利用を図る。	36,000,000円	0円	0円	5,360,000円	30,640,000円
【安来節普及宣伝委託事業】 家元に安来節の普及宣伝を委託することにより安来節の振興を図る。	1,200,000円	0円	1,200,000円	0円	0円
【安来節保存会補助事業】 安来節保存会の行う安来節の普及宣伝並びに安来節若手グループへの支援、振興事業（唄い初め会、安来節全国優勝大会等）に対し補助する。	5,000,000円	0円	5,000,000円	0円	0円



NHK連続テレビ小説で安来節乙女組を演じた女優のみなさん

大事業	40	産業・観光・雇用	担当部署	商工観光課	
中事業	30	観光の振興	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	30	誘客推進事業費		款	07 商工費
事業開始年度		平成30年度		項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	04 観光費
当初予算額 A		4,936,000 円	目的	安来市観光プランの実施や、魅力ある集客コンテンツ造成、月山富田城誘客推進事業を実施し、安来市への誘客推進を図る。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	諸収入 6,000 円			
	一般財源	4,930,000 円			
人件費コスト B	0.4人役 3,098,000 円	総事業費 A+B	8,034,000 円		

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【誘客推進事業】	4,936,000円	0円	0円	6,000円	4,930,000円

安来市への誘客推進を図るため、地域おこし協力隊事業も活用し、観光協会と連携しながら観光プランに基づく誘客事業の実施等、月山富田城誘客推進事業（月山富田城PR、観光案内業務、ボランティアガイド養成講座）を行う。

- 観光案内業務（観光協会） 820,000円
- ボランティアガイド養成講座（文化財課） 190,000円
- 地域おこし協力隊事業（報酬、共済費、活動費委託料） 3,926,000円

大事業	40	産業・観光・雇用	担当部署	農林振興課	
中事業	30	観光の振興	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	35	どじょう振興費		款	07 商工費
事業開始年度		平成30年度		項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	05 特産品振興費
当初予算額 A		13,071,000 円	目的	ドジョウの生産・出荷・販売体制の確立により、地域ブランドとしての「やすぎどじょう」の産地づくりを推進する。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	7,500,000 円			
	その他	0 円			
	一般財源	5,571,000 円			
人件費コスト B	0.2人役	1,549,000 円	総事業費 A+B	14,620,000 円	

「どじょうすくい踊り」で全国的に有名な安来節の発祥地「安来市」。この全国区の知名度の地域資源を生かし、他地域にはできない新たな特産物を産出し、地域活性化を推進するためドジョウの養殖に取り組む。ドジョウ養殖は多くの波及効果と新たな情報発信とともに、遊休農地の有効利用の観点からも優位な特産物として評価できる。

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【どじょう振興事業補助金】	7,900,000円	0円	7,500,000円	0円	400,000円

ブランドとしての「やすぎどじょう」の生産拡大には、生産組織の育成、ドジョウ養殖新規参入者の獲得及び養殖池拡大が必要となる。また良質なドジョウ生産には積極的な給餌管理が必要なために多くの経費を必要とする。こうしたドジョウ養殖経営を推進し、新たな地域特産品を将来にわたって産出するために助成事業を展開する。

【その他振興事業】	5,171,000円	0円	0円	0円	5,171,000円
-----------	------------	----	----	----	------------

●養殖事業の取り組み状況

年度	生産者(人)	養殖池総面積(㎡)	放流稚魚数(万匹)	生産数量(kg)	販売数量(kg)	備考
H16	16	30,200	506	903	672	
H17	27	32,800	272	1,864	1,381	
H18	31	36,000	345	2,433	1,891	
H19	32	41,100	241	3,096	2,735	
H20	33	44,400	255	3,304	3,285	
H21	33	48,600	218	4,862	4,224	
H22	35	50,900	304	4,758	4,099	
H23	35	54,000	292	4,563	3,388	
H24	39	55,415	287	4,167	3,520	
H25	39	49,958	280	3,747	3,903	
H26	38	53,122	310	3,362	2,820	
H27	36	53,900	350	3,983	3,911	
H28	36	56,174	280	4,222	4,258	

●養殖技術改善

- ① ドジョウ研究所主要施設を効率的に活用することによって、優良稚魚を確実に生産し、また幼魚の年間確保を行い、一定基準まで到達したドジョウ養殖技術を更に高度なものとして定着させる。
- ② 効率的なドジョウ養殖技術を普及することによって新規参入者を拡大するとともに、地域性を生かしたドジョウ生産を将来にわたって継続させる。

●生産組織強化

ドジョウ生産者及び生産組織の経営改善によりドジョウ生産体制を整備し、併せて良質なドジョウの生産によって、「やすぎどじょう」の地域ブランドを高める。



先進地視察の様子

					予算に関する説明書ページ数		P61
大事業	40	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課	
中事業	30	観光の振興		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	40	県立自然公園管理費			款	07	商工費
事業開始年度		平成30年度			項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		—			目	06	観光施設管理費
当初予算額 A			1,762,000 円		目的	清水月山県立自然公園内にあるさぎの湯公園・清水公園の管理を行うことによって、自然の保護および公園利用の増進を図る。	
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他		0 円				
	一般財源		1,762,000 円				
人件費コスト B		0.1人役	774,500 円		総事業費 A+B	2,536,500 円	

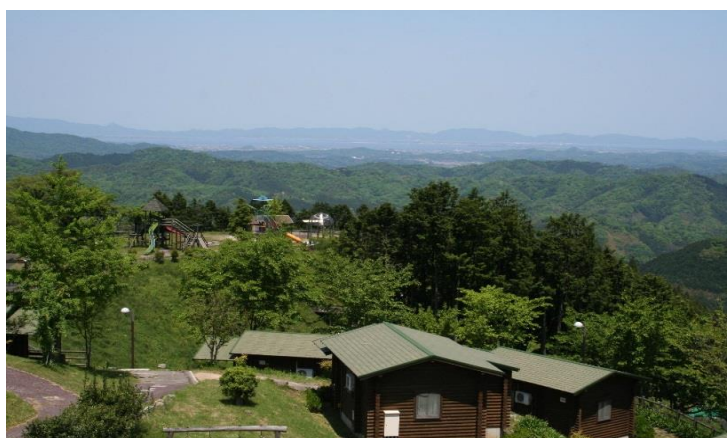
県内の優れた自然の風景地が県立自然公園として指定されており、清水月山県立自然公園もこの指定を受けている。このエリア内にあるさぎの湯公園、清水公園の管理を行う。ゴミ収集、草刈り、清掃、公衆トイレの管理、桜樹の管理等により県立自然公園内の自然の保護および公園利用の促進を図る。

				予算に関する説明書ページ数		P61	
大事業	40	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課	
中事業	30	観光の振興		予算 科目	会計	01	一般会計
小事業	45	温泉施設管理費			款	07	商工費
事業開始年度		平成30年度			項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		—			目	06	観光施設管理費
当初予算額 A		21,933,000 円		目的	温泉の存在は観光客にとって、大きな魅力となっており、その活用は観光客誘致の要であるため、温泉施設の整備により観光地としての価値を高める。		
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他	使用料	7,952,000 円				
	一般財源 ※		13,981,000 円				
人件費コスト B	0.4人役	3,098,000 円	総事業費 A+B	25,031,000 円			
<p>※ 一般財源に入湯税を含む。</p> <p>観光ルート拠点の核となる市内の3つの温泉（さぎの湯温泉、広瀬温泉、比田温泉）の泉源と温泉施設の維持管理を行う。</p> <p>泉源及びポンプ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さぎの湯温泉ポンプ施設管理委託</li> <li>・さぎの湯温泉深井戸水中ポンプ取替工事</li> <li>・広瀬温泉泉源ポンプ施設管理委託</li> </ul> <p>温泉施設の維持管理（富田山荘・憩いの家・湯田山荘）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設修繕</li> <li>・施設及び設備等改修工事</li> </ul>							

大事業	40	産業・観光・雇用	担当部署	商工観光課		
中事業	30	観光の振興	予算科目	会計	01 一般会計	
小事業	50	上の台緑の村管理費		款	07 商工費	
事業開始年度		平成30年度		項	01 商工費	
事業進捗度(年度末目標)		—		目	06 観光施設管理費	
当初予算額 A			12,540,000 円			
財源内訳	国・県支出金		目的	人的交流促進並びに観光客誘致によって観光振興、地域活性化を図る。		
	地方債					0 円
	その他					0 円
	一般財源					12,540,000 円
人件費コスト B		0.2人役	1,549,000 円	総事業費 A+B	14,089,000 円	

指定管理者により、上の台緑の村の管理・運営を行う。また、老朽化による施設修繕を行う。

- ・指定管理料 10,800,000円
- ・施設修繕ほか 1,740,000円



コテージ



				予算に関する説明書ページ数		P61	
大事業	40	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課	
中事業	30	観光の振興		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	55	野だたらと椿の里管理費			款	07	商工費
事業開始年度		平成30年度			項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		—			目	06	観光施設管理費
当初予算額 A			1,415,000 円		目的	白椿ハウスを拠点とした布部ダム湖半「野だたらと椿の里」の利用促進を図る。	
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他		0 円				
	一般財源		1,415,000 円				
人件費コスト B		0.1人役	774,500 円		総事業費 A+B	2,189,500 円	
<p>鉄の道文化圏リーディングプロジェクトにより整備した白椿ハウスを拠点とした布部ダム湖畔「野だたらと椿の里」の利用促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「白椿ハウス」の管理・運営を行う。あわせて観光案内所として来訪者への案内や情報提供を行う。</li> <li>・駐車場の清掃等を行い、施設の環境美化を図る。</li> <li>・「ふれあいの森」の維持管理を行う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●布部ダム公園管理委託料 635,000円</li> <li>●布部ダムふれあいの森管理委託料 216,000円</li> <li>●施設保守点検ほか 564,000円</li> </ul>							

				予算に関する説明書ページ数		P61	
大事業	40	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課	
中事業	30	観光の振興		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	60	山佐ダム体験交流施設管理費			款	07	商工費
事業開始年度		平成30年度			項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		—			目	06	観光施設管理費
当初予算額 A			1,617,000 円		目的	体験交流型レクリエーション施設として利用促進を図る。	
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他		0 円				
	一般財源		1,617,000 円				
人件費コスト B		0.1人役	774,500 円		総事業費 A+B	2,391,500 円	
<p>指定管理者により、山佐ダムの水を生活用水・工業用水として利用している流域住民との交流を深め、ダムの持つ重要な役割を理解してもらうとともに、ダムの自然美をPRし、体験交流施設の利用促進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理料 617,000円</li> <li>・施設修繕ほか 1,000,000円</li> </ul>							

大事業	40	産業・観光・雇用	担当部署	商工観光課	
中事業	30	観光の振興	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	65	絣センター運営費		款	07 商工費
事業開始年度		平成30年度		項	01 商工費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	06 観光施設管理費
当初予算額 A		9,237,000 円		目的	地域の歴史や伝統を体感できる「体験型観光」の振興を図る。
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	諸収入外	3,456,000 円		
	一般財源	5,781,000 円			
人件費コスト B	0.3人役	2,323,500 円	総事業費 A+B	11,560,500 円	

観光ルートの核となる施設の一つとして広瀬絣センターの管理・運営を行う。

- ・観光案内、県指定無形文化財の広瀬絣の制作説明、藍染めの体験指導等
- ・市の特産品及び広瀬絣等の伝統工芸品の展示即売
- ・伝習生を募り、広瀬絣製作技術の保存と伝習

- 広瀬絣伝習所所長・講師報酬 1,686,000円
- 一般事務・販売業務・講師助手臨時雇賃金 4,225,000円
- 光熱水費、施設修繕ほか 3,326,000円



絣センター全景



広瀬絣 製作風景

				予算に関する説明書ページ数		P61	
大事業	40	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課	
中事業	30	観光の振興		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	70	観光交流プラザ管理費			款	07	商工費
事業開始年度		平成30年度			項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	06	観光施設管理費
当初予算額 A		22,380,000 円		目的	集客により人々が集い、憩い、交流することによる地域活力向上を図る。		
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他	使用料外	899,000 円				
	一般財源		21,481,000 円				
人件費コスト B	0.4人役	3,098,000 円	総事業費 A+B		25,478,000 円		
<p>観光交流拠点施設「アラエッサ♪YASUGI」の維持管理を行うとともに、観光案内所においてはJR利用の観光客への観光案内・情報提供・イベントのPRをする。行政コーナーにおいては各種証明書の発行業務等により、観光客及び市民の利便性向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●事務補助員報酬（観光案内・行政サービス） 7,334,000円</li> <li>●共済費 1,187,000円</li> <li>●委託料（保守点検・清掃・施設管理） 6,540,000円</li> <li>●光熱水費ほか 7,319,000円</li> </ul>							

				予算に関する説明書ページ数		P61	
大事業	40	産業・観光・雇用		担当部署		商工観光課	
中事業	30	観光の振興		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	75	道の駅あらエッサ管理費			款	07	商工費
事業開始年度		平成30年度			項	01	商工費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	06	観光施設管理費
当初予算額 A		32,619,000 円		目的	地域振興及び観光振興を図る。		
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他	使用料外	15,135,000 円				
	一般財源		17,484,000 円				
人件費コスト B	0.4人役	3,098,000 円	総事業費 A+B		35,717,000 円		
<p>島根県及び安来市の東の玄関口である道の駅「あらエッサ」の施設管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅全体の維持管理を行う。あわせて来場者へ、情報コーナーを利用し道路及び地域、観光の案内や情報提供を行う。</li> <li>・集客イベントを開催し、交流人口の拡大、地域振興ひいては安来市のPRを図る。</li> <li>・地域振興施設の改修工事を行う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●駅長・事務補助員報酬 8,763,000円</li> <li>●共済費 1,485,000円</li> <li>●光熱水費 9,246,000円</li> <li>●委託料（保守点検・清掃・イベント企画） 5,625,000円</li> <li>●施設修繕ほか 7,500,000円</li> </ul>							

大事業	40	産業・観光・雇用	担当部署	商工観光課		
中事業	30	観光の振興	予算科目	会計	01 一般会計	
小事業	80	観光施設整備費		款	07 商工費	
事業開始年度		平成30年度		項	01 商工費	
事業進捗度(年度末目標)		—		目	06 観光施設管理費	
当初予算額 A			33,230,000 円			
財源内訳	国・県支出金		目的	市内観光施設の整備を行う。		
	地方債	過疎				0 円
	その他	基金				15,000,000 円
	一般財源					15,000,000 円
人件費コスト B		0.3人役	2,323,500 円		総事業費 A+B	35,553,500 円

市内観光施設の改修工事等の整備に係る費用を一括管理し、効率的な施設管理を行う。

○施設改修工事等

(緋センター)

●広瀬緋センター改修工事 30,000,000円

(野だたらと椿の里)

●布部ダム崩落物撤去  
及び安全設備設置工事 2,500,000円

(安来節演芸館)

●雨漏り修繕工事 730,000円

計 33,230,200円

大事業	50	都市基盤・生活	担当部署	地域振興課		
中事業	10	道路交通網の充実	予算科目	会計	01 一般会計	
小事業	10	バス事業費		款	07 商工費	
事業開始年度		平成30年度		項	01 商工費	
事業進捗度(年度末目標)		—		目	07 バス事業費	
当初予算額 A		269,717,000 円		目的	地域住民の日常生活を支える交通手段の確保を図る。利便性の高い公共交通を提供し、地域内外の移動の円滑化を図り、交流と地域の活性化を促進する。	
財源内訳	国・県支出金	県	15,694,000 円			
	地方債	過疎	21,900,000 円			
	その他	使用料外	44,208,000 円			
	一般財源		187,915,000 円			
人件費コスト B	2.3人役	17,813,500 円		総事業費 A+B	287,530,500 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【広域生活バス運行事業】	241,118,000円	12,736,000円	0円	44,208,000円	184,174,000円
--------------	--------------	-------------	----	-------------	--------------

公共交通機関である広域生活バスの運行を行い、地域住民の公共福祉の推進を図る。  
交通需要や地域実情に応じた公共交通の見直しを行い、安心して暮らせる生活交通ネットワークの構築を図る。

成果指標	現状値	目標値
イエローバスの乗車人員年間累計数	327,000人	360,000人

【車両購入・バス停整備事業】	21,940,000円	0円	21,900,000円	0円	40,000円
----------------	-------------	----	-------------	----	---------

老朽化するバス車両2台の更新を行う。バス停留所1箇所の設置を行う。

【生活交通ネットワーク再編事業】	4,526,000円	2,958,000円	0円	0円	1,568,000円
------------------	------------	------------	----	----	------------

比田地区においてボランティアによる地域内交通を実施し、地域内での生活交通の充実を図る。

【代替バス運行事業（奥出雲交通）】	1,980,000円	0円	0円	0円	1,980,000円
-------------------	------------	----	----	----	------------

西比田～亀嵩間の運行に関する補助  
・5系統、8往復／日（平日）、5往復／日（土・日・祝日）

【バス運行補助（南部町）】	153,000円	0円	0円	0円	153,000円
---------------	----------	----	----	----	----------

伯太町須山から南部町境までの運行を南部町に依頼し、その経費の一部を負担  
・1系統、4往復／日



地域内交通の様子（宇波）



バス車両